

2026年3月23日

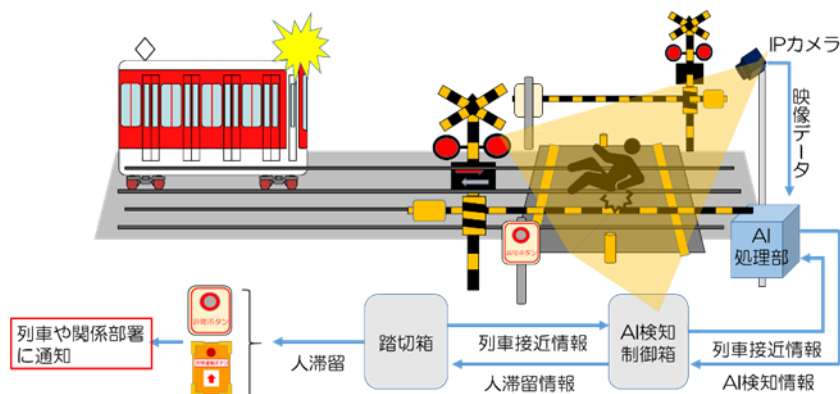
踏切道歩行者見守りシステムの本運用を開始 ～AIによる画像解析を活用し、踏切道の安全性向上へ～

近鉄は、2026年5月26日（火）から順次、「AIによる画像解析を活用した踏切道歩行者見守りシステム（以下、「本システム）」の本運用を開始します。

本システムは、丸紅ネットワークソリューションズ株式会社（本社：東京都文京区 社長：佐藤 由浩）と共同で、2025年4月1日（火）から奈良線 瓢箪山第2号踏切道と京都線 山田川駅構内踏切で実証実験を行ってきました。

今般、安全性向上が期待できるとの結果を得たことから、本運用を開始するものです。

近鉄は今後もデジタル技術を活用し、お客さまに安全安心を提供していきたいと考えています。



1. システム概要

本システムは、踏切道や構内踏切（以下、「踏切道等」）に設置したカメラの映像を AI が画像解析し、列車接近時、踏切道等に取り残された人を検知した場合、「押ボタン式踏切支障報知装置または非常通報装置を動作」させるもので、いち早く列車や関係部署に知らせることが可能となります。

※押ボタン式踏切支障報知装置…踏切道内で異常が発生した場合に押ボタンを操作することで周囲の列車に異常を知らせる装置。

※非常通報装置……駅のホームにおいて、お客さまがホームから線路に転落したとき等、列車を緊急に停止させる必要が発生した場合に、ホーム上に設置した非常通報押ボタンを操作することで、乗務員に異常を知らせる装置。

2. 場所および運用開始日

- ・京都線 山田川駅構内踏切 2026年5月26日（火）初列車から
（京都府相楽郡精華町）
- ・奈良線 瓢箪山第2号踏切道 2026年5月26日（火）初列車から
（大阪府東大阪市河内町）

（以 上）